

令和8年度のスタートにあたって ーあたたかい思いをカタチにー

岩国市立岩国中学校 校長 福本 稔

「ふるさとに誇りをもち、未来を拓く『力と心』を身につけ、
共によりよく生きようとする生徒の育成」

本校は、歴史ある錦帯橋や岩国城とともに、風光明媚な錦川や御庄川流域を校区とする歴史と伝統のある学校です。

この恵まれた環境に誇りをもちつつ、校訓「誠実・自主・創造」のもと、先行き不透明なこの時代を、周囲の方々と協働しながら、自ら未来を切り拓き、生き抜く力と心を培ってほしい、そのような願いを込めて冒頭の学校教育目標を設定しています。

この学校教育目標の具現化をめざすために、昨年度からチャレンジ目標として「あたたかい思いをカタチに」を設定しています。自分だけがよければ良いのではない、一部の人だけが楽しければ良いのでもない、それぞれの生徒がもっている「あたたかい思い」や「やさしい思い」をぜひ「カタチ」にして、周囲の人はもちろんのこと、同じクラスの仲間、さらには全校生徒ひとり残らず、あたたかい思いがあふれる充実した学校生活を過ごしてほしいと願っています。すべての生徒が思いやりをもっていきいきと活動し、一人ひとりの「ウェルビーイング」が大切にされる、そんなみんなが「通いたくなる学校」をめざしていききたいと思います。

また、ふるさとに誇りをもちつつともに、小中9年間を見通した取組を推進するため、本中学校区では、校区内の4つの小学校とともに地域協育ネットとして「岩国きんたいきょうネット」を構成しています。そこでは、小小連携や小中一貫した取組として「きんたいきょう学」をはじめ、さまざまな取組を進めています。こうしたふるさとへの思いを高める活動を通して、生徒一人ひとりが自らも成長していったほしいと期待しています。

これからも引き続き、本校の教育活動へご理解、ご協力を賜りますようどうぞよろしくお願いたします。